

1) - 4 激震後の高層建築物群からの同時一斉避難による街区群集の制御に関する研究

研究期間（平成 24～26 年度）

〔担当者〕 西野智研

本課題では、(1) 巨大地震後の高層建築物群における在館者の建物避難行動、および、(2) 屋外脱出後の道路空間における滞留・広域避難行動の二種類の現象に焦点をあて、大人数の避難者が同時に発生することによる群集事故等の危険性を、街区レベルでの避難ルール・避難誘導戦略といったソフト的対策により制御する手法を検討した。平成 26 年度は、建物・道路空間における群集の流動・滞留性状を一体的にシミュレート可能な予測モデルを開発し、高層建築物群で構成される特定の街区を対象にしたケーススタディを行って、群集の過密状況や避難誘導による緩和効果を定量的に評価し、避難計画を支援する計算ツールとしての機能を確認した。